

初秋を彩るのは萩の花



センダイハギ



ミヤギノハギ

本学のロゴマーク(本頁左下参照)が萩の花をモチーフにしたものであることは、ご存じの方もいらっしゃるでしょう。日本の秋を代表する萩ですが、「ハギ」と言っても一種類の植物では無く、ヤマハギ、ツクシハギなど、多くの種類の総称として「ハギ」があります。それではロゴマークの基になった「ハギ」は、一体どの種類なのでしょうか？

本学が所在するのは宮城県仙台市ですから、「ミヤギノハギ」、「センダイハギ」という名が脳裏に浮かぶかも知れませんが、後者の「センダイハギ」は千代萩などと書かれ、伊達騒動を題材にした歌舞伎の「伽羅先代萩(めいぼくせんたいはぎ)」に由来するとの説も有り、「仙台にゆかりのある植物名と言えないこともありません。ただ、「センダイハギ」という植物は、他の「ハギ」と同じマメ科ですが別属の草本植物であり、花も黄色く、ロゴマークの植物とは全くの別物です。

「ミヤギノハギ(宮城野萩)」です。マメ科ハギ属の低木で、初秋に濃い紫色の花を咲かせます。

今ではすっかり定着したこのロゴマークは、二〇〇七年に創立百周年記念事業の一環としてこのロゴマークが制定されるにあたり、デザイナーの方に「ミヤギノハギ」の写真や資料をお目にかけてかかっています。

東北大学名誉教授
(東北大学術資源研究センター植物園園長)
鈴木三男

◎東北大学 植物園 URL : <http://www.biology.tohoku.ac.jp/garden/>

この『まなびの杜』は、インターネットでもご覧になれます
<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/manabi/>
バックナンバーもご覧になれます

- 『まなびの杜』をご希望の方は各キャンパス(片平、川内、青葉山、星陵、雨宮)の警務員室、附属図書館、総合学術博物館、植物園、病院の待合室などで手に入れることができますので、ご利用ください。
- 無断転載を禁じます。
- 『まなびの杜』は3月、6月、9月、12月の月末に発行する予定です。
- 『まなびの杜』編集委員会委員(五十音順)
伊藤 彰則 加藤 道代 小坂 健 齋藤 忠夫 佐藤 博 柴田 友厚
田邊 いつみ 寺田 直樹 中原 太郎 堀井 明 山家 智之 横溝 博
東北大学総務部広報課 谷口 善孝 佐藤 梓
- 『まなびの杜』に対するご意見などは、手紙、ファクシミリ、電子メールでお寄せください。
〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2-1-1
TEL 022-217-4977 FAX 022-217-4818
Eメール koho@bureau.tohoku.ac.jp

【 編 | 集 | 後 | 記 】

皆さんは、この『まなびの杜』をどこでご覧になっているのでしょうか。送付されてきたものを自宅や職場でご覧になっているのでしょうか。あるいは、附属図書館か、大学病院でしょうか。いずれにしても、多くの場合には「ふと手にして読んでみた」という状況ではないでしょうか。今号の「地域と大学」は附属図書館ですが、図書館には知らなかった情報との「ふとした出会い」があります。昨今は大学から社会への情報発信が盛んであり、サイエンスカフェやFacebookなどを通じた活動も盛んに行われています。これらは大変有効なメディアですが、「大学からの情報を是非知りたい」と思っている人にしか情報が届かないのが難しいところです。そういう意味で、「特に知りたいと思っていなかったけれど、偶然ふれた情報」というのも大事なのではないのでしょうか。『まなびの杜』は、毎号楽しみに読んでいただいている方にはもちろん、偶然手にとってお読みいただいた方にも面白く、有益な情報が提供できるようにしていきたいと考えております。

『まなびの杜』編集委員会委員
工学研究科 教授 伊藤 彰則



東北大学

まなびの杜

平成24年9月30日発行
発行人:東北大学『まなびの杜』編集委員会委員長 齋藤 忠夫
〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2-1-1
東北大学総務部広報課 TEL.022-217-4977 FAX.022-217-4818

※著作権は国立大学法人東北大学が所有しています。※無断転載を禁じます。※この用紙は、再生紙を使用しています。